

競 技 注 意 事 項

- 本大会は、2022年度(公財)日本陸上競技連盟規則及び本大会要項・監督会議申し合わせ事項により実施する。
日本陸上競技連盟が示す「陸上競技活動再開についてのガイダンス」に基づき実施する。
- ウォーミングアップは、補助競技場(投てきは砲丸投のみ)で行うこと。室内走路の使用は禁止とする。
- 招集について
 - 競技開始時刻の**40分前**までに**競技場内記録室前の簡易招集所**で自分のナンバーに○をつける。
 - トラック競技はスタート地点、4×100mRは各スタート場所に**競技開始10分前**、フィールド競技は現地に**競技開始30分前**までに集合する。この時刻が招集完了時刻になる。
 - 混成競技において、第1日、第2日ともに第1種目目は簡易招集所で○をつける。それ以降の種目については、トラック種目は10分前、フィールド種目は20分前に現地に集合し係の点呼を受ける。

4. 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	
男子	1m40～	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	以後+3cm
	1m65～									
女子	1m10～	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	
	1m40～									
混成男女	選手・天候の状況により決定し、3cmずつ上げる。									

- 棒高跳のバーの上げ方は、選手・天候の状況により決定する。
- リレーオーダー用紙の提出は、最初の組の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
- セパレートレーンの競技では、ゴール後も自分のレーンを走ること。
- 同タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定は下記による。
 - 800mまでの競走
同タイムの場合、写真判定の拡大写真(0.001秒)によるが、それでも同着の場合は抽選とする。
 - 1500m以上の競走
同タイムの競技者はすべて次のラウンドに進める。
- 規定外のシューズの使用を認めない。

種目	フィールド種目 (三段跳を除く)	三段跳	トラック種目 (ハードル種目を含み、 800m未満の種目)	トラック種目 (障害物競争を含み、 800m以上の種目)
ソール最大厚さ	20mm	25mm	20mm	25mm

- 棒高跳のボールは検定のうえ、使用してもよい。
- ハンマー投の練習は大会期間中は禁止とする。サブトラックも同様とする。
- 男子総合、女子総合6位まで、男子、女子ともにトラック3位、フィールド3位、優秀選手には賞状を授与する。
- 各決勝種目後の表彰は実施しない。
- 県大会出場者について
 - トラック競技は14枠、リレーは8枠、2000mSCは各地区予選記録上位15名、混成競技は各地区予選記録上位8名までとする。
 - トラック競技における県大会の出場者は、出場枠内で「予選、準決、決勝」のいずれかのラウンドにおいて記録を残した者に限る。ただし、障害・競歩・リレー競技の失格は出場枠内であれば、県大会の出場を認める。(申合せ事項)
 - フィールド競技は14名以内で、さらに下記の参加標準記録を突破した者とする。
(フィールド競技標準記録)

種目	県大会参加標準記録		備考
	男子	女子	
走高跳	1 m 5 5	1 m 2 5	
棒高跳	2 m 5 0	2 m 0 0	
走幅跳	5 m 5 0	4 m 0 0	追風参考記録も含む
三段跳	1 1 m 0 0	9 m 0 0	追風参考記録も含む
砲丸投	8 m 5 0	7 m 5 0	
円盤投	2 0 m 0 0	1 5 m 0 0	
ハンマー投	1 5 m 0 0	1 3 m 0 0	
やり投	3 0 m 0 0	2 0 m 0 0	

- 混成競技はこの限りではない。(申合せ事項)
- 新型コロナウイルス感染症による救済について、部活動制限(停止)の学校の生徒及び濃厚接触者等として保健所等の判断により活動が制限され本大会に出場できなかった選手は、期間内の公認記録と対象の選手を比較し審議する。ただし、陽性者は対象に含まない。(申合せ事項)
- 該当種目に出場する選手以外は競技場に入らないこと。また、正面入口及び本部役員席前は通行禁止とする。
- 競技欠場と多種目同時出場取り扱いについて(用紙は簡易招集所に準備)
 - トラック競技は競技開始40分前までに「欠場届」または、「多種目同時出場届」用紙を簡易招集所に提出する。
 - フィールド競技は競技開始1時間前までに「欠場届」または、「多種目同時出場届」用紙を簡易招集所に提出する。
 - リレー競技を欠場する場合はリレーオーダー用紙提出時刻までに「欠場届」を提出する。
- その他
 - コロナウイルス感染拡大防止のため、集団応援を含む応援はすべて禁止とする。
 - 該当種目に出場する選手以外は競技場に入らないこと。また、本部役員席前は通行禁止とする。
 - 室内走路は使用禁止とする。
 - 更衣室の使用については、入室する人数を制限し、滞在は短時間にする。
 - 滑り止め(炭酸マグネシウム)は各自準備することとする。